

第十三章 給養

一 給養ハ作戰準備間タルト戰鬪間タルヲ問ハス現地物資ノ高度利用
ニ努メ以テ正規糧秣ノ愛惜節用ノ徹底ヲ期スルモノトス
乾麩麹及醃詰類ハ戰鬪間ノ使用ニ充ツルモノトス

ニ 現地物資ノ利用及取得實施要領

一 現地物資ハ作戰準備間ハ既存地方機關ヲ介シテ取得スルモノトス
戰鬪間住民退避不在時ニ供ヘ且各部隊ノ取得ヲ競合ヲ防止スル
目的ヲ以テ成ルヘク速ニ取得地域ノ表示並ニ代金支拂方法等ニ關シ
地方官憲ト協定ヲナシ置クモノトス

2. 主食代用甘藷及野菜類ノ取得地域ハ概ニ具志堅、嘉津守、謝花
新里トシ馬糧用甘藷ハ概ニ備瀬ヲ取得地域トス

3. 豆もやし、豆腐、佃煮漬物類及乾燥落ハ部隊ノ指定工場ヲシテ製
造セシム又内類ハ塩藏又ハ燻製トシ長期貯藏ヲ圖ルモノトス

4. 甘味品ハ現地取得物資及黑糖ヲ原料トシ自營又ハ委託製造マシム

ムルモノトス

5. 燃料用薪及木炭ハ努メテ兵力ヲ以テ自營スルモノトス

三 生牛及豚ノ飼育

戰鬪間ノ給養確保ノ目的ヲ以テ生牛約八〇頭、豚一五〇頭ヲ飼育スルモ
トシ十一月末迄ニ之カ飼育準備ヲ完了スルモノトス

第十四章 糧秣集積、貯藏及補給ニ關スル事項

一 糧秣集積基準量左ノ如シ

各中隊	二ヶ月分
大隊本部	二ヶ月分
大隊全部ニ對スル	二ヶ月分
聯隊本部	二ヶ月分
聯隊全部ニ對スル	二ヶ月分
前項基準量ニ對スル不足糧秣ハ聯隊本部ニ於テ各大隊ノ分ヲ取極メ 旅團司令部ニ一括請求シ速ニ充足スルモノトス	

三日之消費、糧秣ハ聯隊本部ニ於テ各大隊ノ分ヲ取纏メ、毎月一回旅團

司令部ニ請求受領スルモノトス。之カ爲メ各大隊ハ毎月十五日迄ニ貯藏糧秣

ノ品種數量ヲ聯隊本部ニ報告スルモノトス。

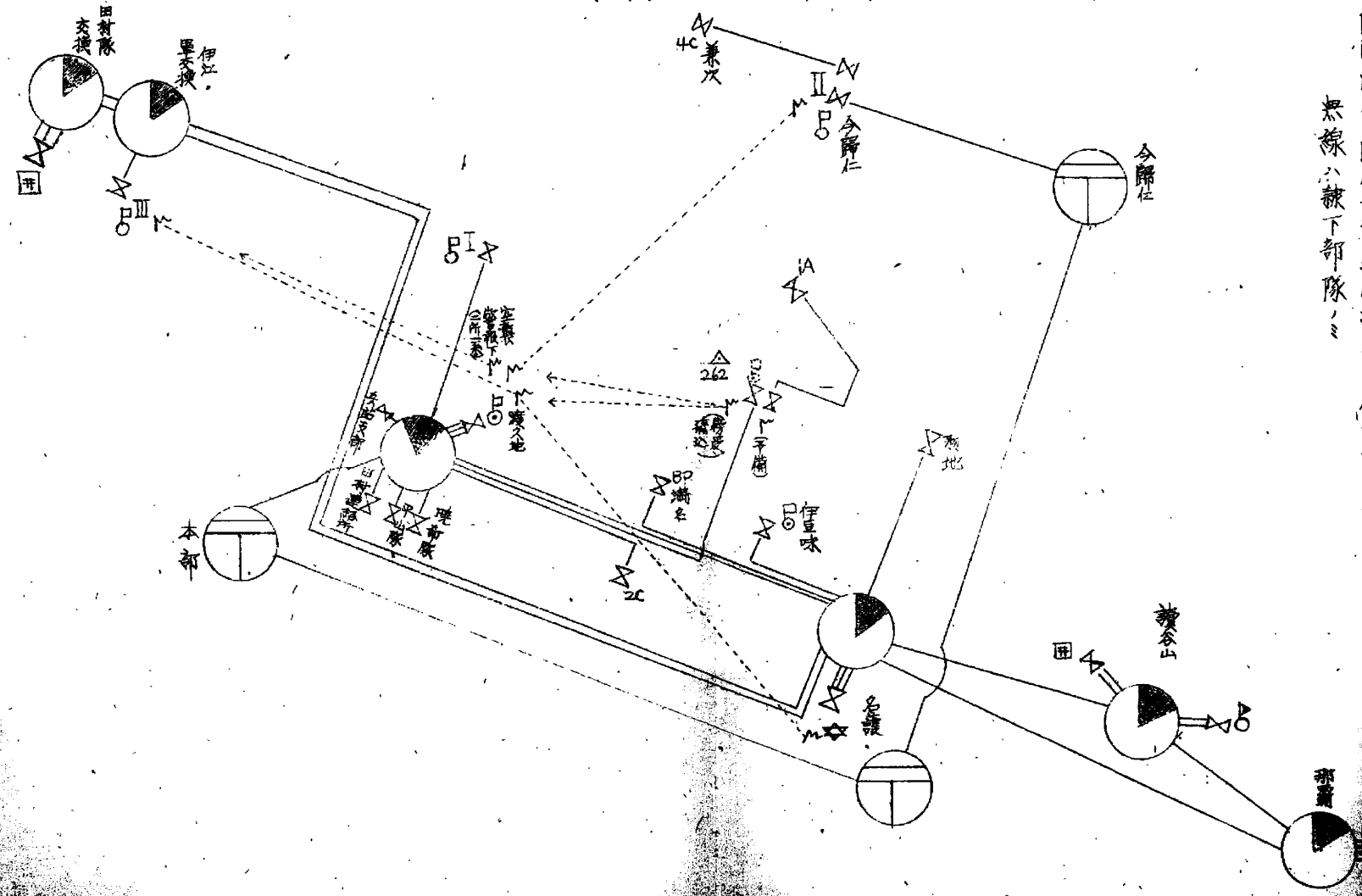
其ノ積用糧秣ハ主陣地内洞窟又ハ半洞窟式倉庫ニ分散格納シ、砲爆

撃ニ對シテ安全ナル措置ヲ講スルモノトス。腐敗ニ易キ品種ニ對シテハ特ニ

更新ニ留意シ、通風ヲ良好ナラシメ、或ハ時々積替ヲナス等防濕ニ関シテ

遺臘ナカランムルモノトス。

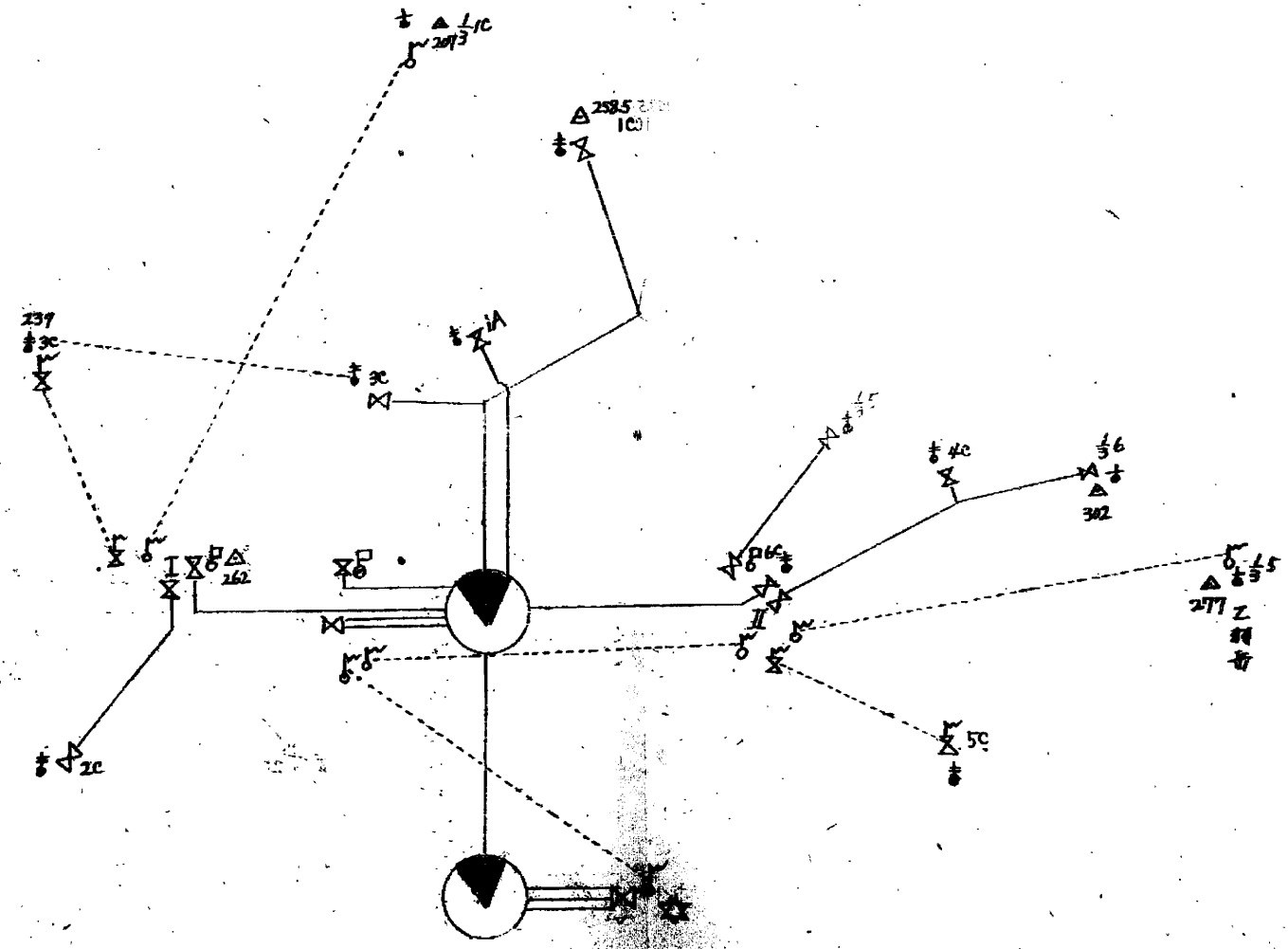
圖要網信通線無有



附圖第一 關原部隊通信網要圖 (作戰準備期間) 無線六線下部隊

附圖第一 陣地内(戰國阿)通信網要圖

圖要網陸通線無有



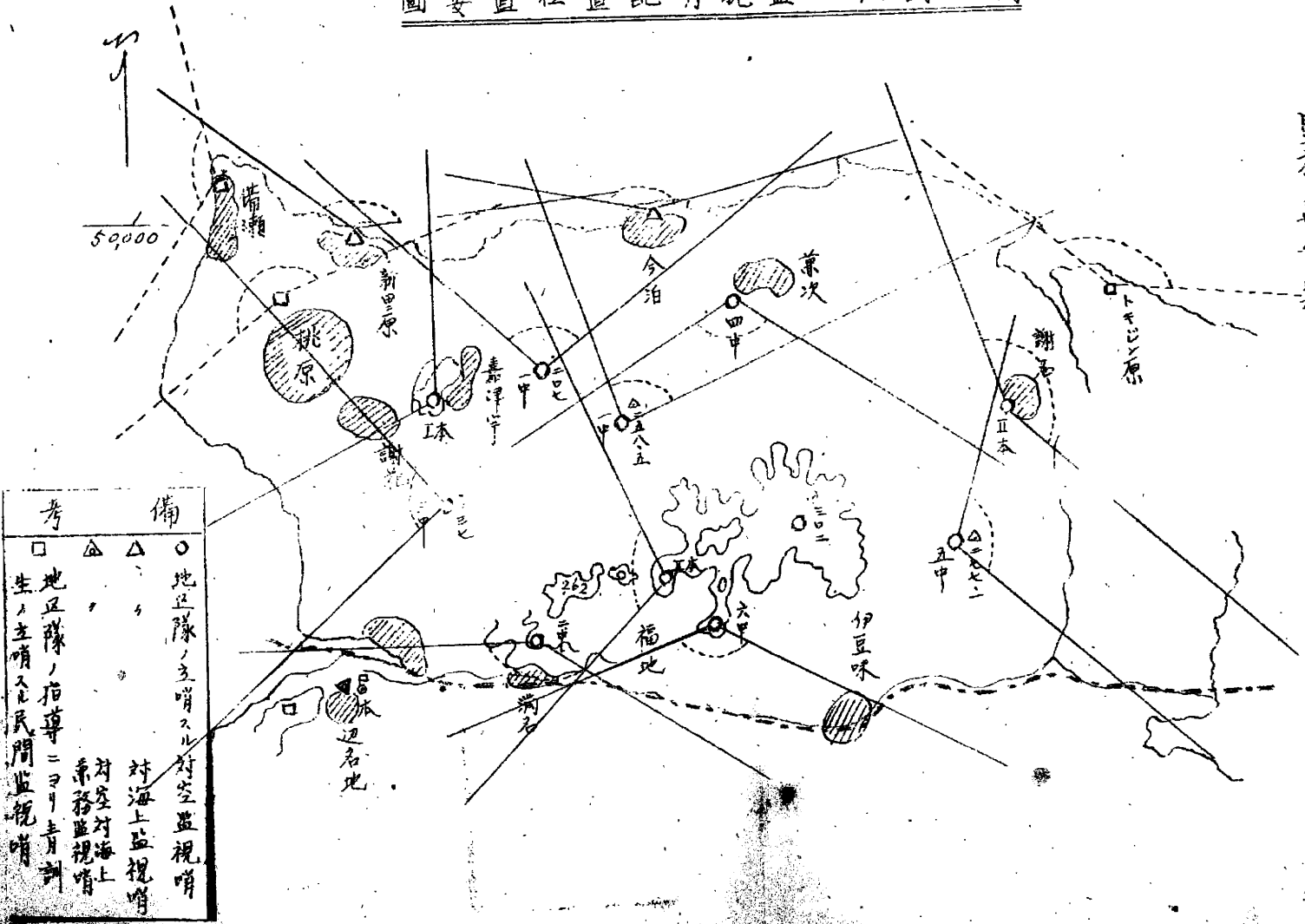
備考

有線通信網ハ出来得ル限リ重構成ヲ以テシ被覆後線ハ重構成ノ出来得ザル所、復線用及補線ニ用フ

對空對上海監視哨配置位置要圖

附圖第三

方針 丙號戰備下令ト同時ニ對空對海上監視哨ヲ配置シ
監視ノ萬全ヲ期セントス



考	備
□	地区隊ノ指揮ニヨリ民間監視哨
△	地区隊ノ指揮スル對空監視哨
○	對海上監視哨
●	對空對海上兼務監視哨